

令和6年第7回議会運営委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年6月27日（木曜日）			開会	11:00	会議場所	別海町議会 正副議長室		
				閉会	13:00				
委員の出欠	9番	小椋 哲也	出席	10番	外山 浩司	出席	11番	今西 和雄	出席
	14番	佐藤 初雄	出席	15番	戸田 憲悦	出席			
委員外の出席	議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員	事務局長	干場 富夫		主幹	木幡 友哉		合計	2名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 小椋	<p>議事1 令和6年第2回定例会等の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日目何かあるか。 ・特になし。 ・5日目何かあるか。 <p>主な討議内容（一般質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再質問が広がりすぎたケースがあった為、再質問は通告の範囲内とすることや、元々聞きたい内容があるのであれば、最初から通告するなど再度周知する必要がある。再質問はそもそも回答内容に対して行うものではないか。（掘り下げていく質問）回答内容に満足したら無理に再質問しなくても良いと思う。この件は一般質問検討会議時冒頭に議運委員長から改めて周知する。 ・事前通告内容を読上げ時に、質問項目を追加して質問するケースがあった。 ・質問の中で議員や町民の声が沢山ある旨の発言は良かった。 ・教育長の答弁前の冒頭の挨拶は不要だったのでは。 ・その内容から、町民不安に対する町長の直接の言葉があると違ったのではないか。 ・事前通告の中に、色々な質問の要素があったため、互いに混乱し整理するのが難しかったケースがあった。 ・他に何かあるか。 ・特になし。 ・6日目何かあるか。 <p>自由討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管職員の答弁と町長の答弁に食い違いが見られた。 ・再質問が通告の質問内容と同様だったので、角度を変えて再質問することでつながったのではないか。 ・理事者から前向きな姿勢が感じられ、町民や議会への理解に繋がってきていると感じる。 ・一般質問全体をとおしてだが、質問をしている際に町側で答弁調整があるように、時計は止めないにしても、今回のような代表質問をする際の再質問などは、総意にそったものになっているか確認したい時もあると思う。そういった時に議員が集まり「質問調整」する場を設けることは可能か。また、制度上「質問者補助」を置くことは可能か。 ・議長会へ確認する。 ・定数の特別委員会から協議の依頼がきていて、今の特別委員会では委員会構成の話をしているが、委員会を2つにするのか、もしくは3委員会7名体制で広報を含めて重複所属とするのか検討しているが、重複所属とした場合の一般質問について、今は所属委員会の内容の一般質問は原則しないとしているが、そのルール等を再度確認し統一する必要がある。その仕切りと質問をする際の手順を定めた方が理解が深まる。特別委員会で重複所属となれば、議運でも内容の整理が必要となるがいかかがか。また、それに合わせて、関係する「常任委員会の所管事務調査申し合わせ」も内容を確認し整理することでよいか。 ・異議なし。 <p>主な討議内容（予算決算審査特別委員会）</p>
委員 一同	
委員長 9番 小椋	
自由討議	
事務局 干場	
委員長 9番 小椋	
委員 一同	
委員長 9番 小椋	

令和6年第7回議会運営委員会 要点記録

委員長	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、予算決算審査特別委員会を自席で座って進める話をしたが改めて協議をしたいがその内容でいかがか。
委員		一同	
委員長	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。 ・質問回数についてだが、同じ「細節」でも別物（別な角度）の質問の取扱いをどうするか協議願いたい。
自由討議			
委員長	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・原則3回は堅持し、3回を超える場合の質問はその時のケースによるところが大きいので、委員長判断とする。 ・他に何かあるか。
委員		一同	
委員長	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
委員長	9番	小椋	
			<p>主な討議内容（広報・広聴常任委員会関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでの広聴活動について、産業祭で議員のブースを設置して政治活動では無く、町民とコミュニケーションの機会・接点を増やす目的・基本方針で産業振興部に打診したところ、ブースを出すこと自体はやぶさかではないが、あくまでもイベントを盛り上げる観点を忘れないでほしいという内容で、最終的には実行委員会に諮られるため、広報・広聴常任委員会で企画書を作成して実行委員会に提出することとなっている。ただ、今回は議会全体の取組というよりは、広報・広聴常任委員会の意見交換会のような立ち位置で、議員の皆さんには参加の呼びかけをするが、必ず参加や全員参加ではなく、少し緩い形を計画し、来年度以降どうするかも含めたトライアルとしてやっていきたいとのこと。今後内容が固まってきたら再度お話したい。 ・地域めぐり懇談会だが、例年どおりの取組を考えていて、特に委員会が主体となる意見交換が活発になることも想定されることから、これまでどおりの取組を継続する流れとなっている。例年4か所での開催で、西・東・中央以外の1か所を議運で地区を選定願いたいとのことなので何う。 ・中春別地区はいかがか。
自由討議			<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。
委員		一同	
委員長	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・広報で話していたのは、前回中西別が人数が沢山来て良かったので、同じ様な形で開催できるよう、前回どのような形で集めたのかも参考にしながら進める話が出ていた。また、昨年は冒頭に議会改革の話をしたが、今年は冒頭で定数・報酬の特別委員会を設置している話をしてはどうかの意見が出ていた。その他3委員会は従来どおりで、その内容も各委員会で今後協議願いたい。 ・その他、各委員会で意見交換会が予定されているが、事務局ともその手順や必要な書類等整理しているので宜しく願いたい。以上が広報で話し合われた内容。
委員長	9番	小椋	
			<ul style="list-style-type: none"> ・7日目（各常任委員会）何かあるか。 <p>※各委員長から委員会内容の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業については異例の傍聴だったが、その中で取組が必要と思われる点があった。まず、補正予算の掘削工事2億円という中で論点がいくつかあったが、「金額」の意見が多かった。所管は金額の積算内容を説明したが理解されなく話が進んだので、役所側のルールへの勉強・理解しないと議論に繋がらないので、議員側もその仕組みの勉強が事前に無いと有効な議論に繋がらないと感じたので、むしろ必要なのは今後いかに入札が有効に働くようにするのかを確認して議論するため、その仕組みを理解したうえで議論が必要。また、今回傍聴が多かったが、私語が多く所管も気が散ったと思うので徹底する必要があると感じた。 <p>（※議員間討議で周知する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補正予算の掘削工事2億円の関係だが、町側から金額は事前審査に当たるので出さなかった答弁があったが、「事前審査」とは何かという認識と、「予特」との切り分けを明確にしないと、今後委員会の事務調査で支障をきたすと考えていて、まず「事前審査」というものの定義は自治法上無いとの認識をしているが、まずは「事前審査」とは何かという部分で確
自由討議			

令和6年第7回議会運営委員会 要点記録

		<p>認する必要があると考えていて、私の認識では、議会での議論が、公開されていないところで議論されてしまって物事が決まるのは駄目だから事前審査は駄目だということのかなと思う。これは地方自治法115条で公開の原則があるが、それが出来ないから事前審査は駄目ということであれば、委員会は公開なので、委員会で審査するのは事前審査には当たらないのではないかと思われる。事前審査は公開されない場で議論されるもので、委員会等の公開された場での議論は事前審査に当たらないとの認識が正しいのか議長会等で確認してほしい。また、予特の範ちゅうは、議案として上程されてから、その議案を審査する予特までは予特の権限だが、上程される前というのは議案になっていないので、予特の範ちゅうでは無いのかなと思うがいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の定例会に向けて、所管と委員会が共通認識を持てるよう、事務局でも確認をお願いする。 ・議員（委員）の発言について、委員会でも調査は事務事業に対する調査であって、自己の主義主張のみをする場では無いので、「議員の発言」というものについて、どこかのタイミングで全員で確認する必要がある。 ・他に何かあるか。 ・特になし。 ・8日目（最終日）何かあるか。 ・特になし。 ・全体をとおして何かあるか。 ・タブレットに、6月定例会に係る「議会モニターからの意見」を掲載している。今後は全議員も確認できるようタブレットに掲載していきたい。 ・7月10日・11日で全国地方議会サミットに参加するが、そこで土山教授から「委員の総意に基づく一般質問」の経緯や効果、課題、制度的なことについて話してほしいと言われていいる。各委員長から、効果と課題についてどのように考えているのか教えてもらえると、自分だけの考えだけではなくて、議会としての考えに繋がるのでタブレットで良いので意見を出してほしい。また、今年もマニフェスト大賞応募を考えている。 ・他に何かあるか。 ・特になし。
委員長	9番 小椋	
委員	一同	
委員長	9番 小椋	
委員	一同	
委員長	9番 小椋	
事務局	干場	
議長	西原	
委員長	9番 小椋	
委員	一同	
委員長	9番 小椋	閉会挨拶
委員長	9番 小椋	13:00 閉会